

届出排出量・移動量の経年変化の概要について

事業者から届出のあった排出量及び移動量について、前年度までの集計結果※と比較した結果は以下のとおりです。

なお、平成13、14年度届出分については、届出事業所の対象化学物質の取扱量要件が年間5トン（平成15年度届出分から取扱量要件は年間1トンに引き下げ等）であり、平成22年度届出分から対象化学物質が354物質から462物質に変更され、医療業が対象業種に追加されたことに留意する必要があります。

※平成13年度から24年度データについては、平成26年3月の公表後に変更された届出事項を反映して集計した結果を用いています。

(1) 届出状況

全対象化学物質のうちいずれか1物質以上について届出のあった全国の事業所総数は、平成25年度は35,974事業所となり、前年度と比べて707事業所減少しています。また、電子情報処理組織による届出の占める割合は増加傾向にあり、今年度も引き続き全届出数の半数を超えました。

表1. 届出方法別にみた届出状況（（）内は全届出に占める割合）

届出方法	年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
紙による届出		32,293	31,221	35,037	27,236	24,919	23,693	22,535	21,163	18,971	17,782	16,700	15,817	15,403
		(93%)	(91%)	(85%)	(67%)	(61%)	(57%)	(55%)	(53%)	(49%)	(47%)	(45%)	(43%)	(43%)
磁気ディスクによる届出		2,061	2,021	2,517	1,563	1,267	1,193	1,018	804	681	587	549	426	374
		(5.9%)	(5.9%)	(6.1%)	(3.9%)	(3.1%)	(2.9%)	(2.5%)	(2.0%)	(1.8%)	(1.6%)	(1.5%)	(1.2%)	(1.0%)
電子情報処理組織による届出		466	1,255	3,560	11,647	14,841	16,460	17,710	18,049	18,991	19,419	19,707	20,438	20,197
		(1.3%)	(3.6%)	(8.7%)	(29%)	(36%)	(40%)	(43%)	(45%)	(49%)	(51%)	(53%)	(56%)	(56%)
合計		34,820	34,497	41,114	40,446	41,027	41,346	41,263	40,016	38,643	37,788	36,956	36,681	35,974

(2) 届出排出量・移動量

平成25年度は、全対象化学物質の総届出排出量・移動量は前年度と比較して減少しました。化管法施行令改正の前後で継続して届出対象物質として指定された物質（以下「継続物質」という。）276物質のうち平成25年度分として届出があった263物質※を対象として集計した総届出排出量・移動量も337千トンと、前年度と比較して2.3%減少しました。なお、追加対象化学物質の総届出排出量・移動量は39千トンでした。

また、継続物質の総排出量は144千トン（同比1.9%減少）、総移動量は192千トン（同比2.6%減少）となっています。

※平成25年度分として届出がなかった物質：CFC-13、プロピザミド、エディフェンホス、ホサロン、フェノチオカルブ、ピラクロホス、CFC-112、トリクロピル、クロフェンチジン、ハロン-1211、酸化フェンブタズ、エンドスルファン、ペンタクロロフェノール

(注) 対象化学物質の見直しに伴うデータの扱いについて

第一種指定化学物質462物質のうち、化管法施行令の改正により第一種指定化学物質になった186物質を「追加対象化学物質」、政令改正の前後で継続して第一種指定化学物質として指定されている276物質を「継続物質」として扱うこととしました。また、政令改正前の第一種指定化学物質354物質のうち、政令改正により第一種指定化学物質から外れた73物質を「削除物質」としました。

なお、継続物質のうち、政令改正前後で統合・分割された物質及び対象となる物質の範囲が拡大・縮小された物質に関する政令改正前後の排出量等の継続性の考え方は、以下のとおりとしました。

- ①政令改正後に統合された対象化学物質（「クロロアニリン」及び「フェニレンジアミン」）の排出量等は、対応する複数の政令改正前の対象化学物質の排出量等を合計した数値と完全に対応するものとして扱う。
- ②政令改正後に分割された対象化学物質（「鉛」、「鉛化合物」）の排出量等を合計した数値は、政令改正前の対象化学物質（「鉛及びその化合物」）の排出量等と完全に対応するものとして扱う。ただし、政令改正後の対象化学物質の「鉛」または「鉛化合物」の排出量等と政令改正前の対象化学物質の「鉛及びその化合物」の排出量等を比較する際は、対象化学物質の範囲が異なることを明示する。
- ③政令改正後に対象範囲が拡大または縮小された対象化学物質（「アクリル酸及びその水溶性塩」、「トリレンジイソシアネート」、「トルエンジアミン」、「バナジウム化合物」、「ほう素化合物」）の排出量等は、対応する政令改正前の対象化学物質の排出量等と同一とみなす。
- ④政令改正後に対象範囲が拡大されて統合された対象化学物質（「ジクロロベンゼン」及び「トルイジン」）の排出量等は、対応する複数の政令改正前の対象化学物質の排出量等を合計した数値と同一とみなす。

図 1. 届出排出量・移動量の経年変化

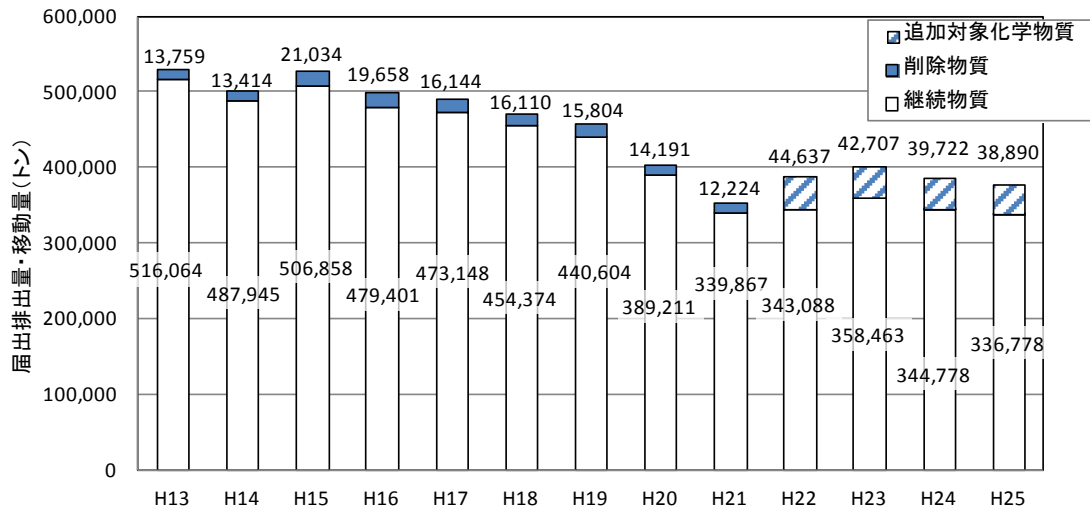


表 2. 届出排出量・移動量の推移（継続物質）

排出先		届出排出量・移動量の経年変化（継続物質）												
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
排出量 (トン/年)	大気	277,022 (279,876)	253,365 (256,143)	249,240 (251,915)	232,325 (234,562)	225,377 (227,405)	216,694 (218,624)	209,740 (211,552)	179,142 (180,829)	154,733 (156,139)	147,791 (164,558)	141,771 (157,810)	132,014 (147,094)	129,333 (144,873)
	公共用水域	10,505 (12,704)	10,503 (12,148)	11,489 (12,647)	10,186 (11,243)	9,841 (10,749)	9,433 (10,131)	9,305 (9,932)	8,904 (9,507)	8,030 (8,555)	8,312 (8,761)	8,164 (8,613)	7,402 (7,730)	7,118 (7,323)
	土壌	49 (234)	44 (299)	7.0 (250)	4.0 (252)	4.0 (234)	27 (166)	110 (344)	153 (381)	128 (463)	106 (116)	154 (154)	1.8 (1.8)	5.5 (5.5)
	埋立	20,451 (20,451)	22,429 (22,429)	27,290 (27,290)	24,511 (24,511)	22,175 (22,175)	17,906 (17,906)	14,201 (14,201)	10,897 (10,897)	11,560 (11,560)	8,419 (8,428)	8,584 (8,602)	7,845 (7,846)	7,976 (7,976)
	合計	308,027 (313,265)	286,340 (291,019)	288,027 (292,102)	267,026 (270,568)	257,396 (260,564)	244,060 (246,826)	233,355 (236,028)	199,097 (201,614)	174,450 (176,717)	164,628 (181,863)	158,673 (175,179)	147,264 (162,672)	144,433 (160,178)
移動量 (トン/年)	廃棄物	204,486 (212,585)	198,969 (207,362)	216,146 (232,691)	209,914 (225,644)	213,575 (226,199)	208,449 (221,492)	205,811 (218,636)	188,911 (200,344)	164,243 (173,968)	177,256 (204,184)	198,710 (224,557)	196,492 (220,447)	191,254 (214,186)
	下水道	3,552 (3,973)	2,636 (2,977)	2,686 (3,100)	2,460 (2,847)	2,176 (2,529)	1,866 (2,166)	1,438 (1,744)	1,203 (1,444)	1,173 (1,406)	1,204 (1,679)	1,080 (1,435)	1,022 (1,382)	1,091 (1,304)
	合計	208,037 (216,559)	201,605 (210,339)	218,832 (235,791)	212,375 (228,491)	215,752 (228,728)	210,314 (223,658)	207,249 (220,380)	190,114 (201,788)	165,417 (175,374)	178,461 (205,863)	199,790 (225,991)	197,514 (221,828)	192,345 (215,491)
届出排出量・移動量合計 (トン/年)		516,064 (529,824)	487,945 (501,359)	506,858 (527,893)	479,401 (499,059)	473,148 (489,292)	454,374 (470,484)	440,604 (456,408)	389,211 (403,402)	339,867 (352,091)	343,088 (387,726)	358,463 (401,170)	344,778 (384,500)	336,778 (375,668)

※表中（ ）内は、追加対象化学物質・削除物質を含めた全ての対象化学物質の合計値（トン/年）

(3) 化学物質の種類別の届出排出量・移動量

継続物質 276 物質のうち届出があった 263 物質を対象として集計した化学物質の種類別の届出排出量・移動量は以下のとおりです。

①届出排出量・移動量の上位 10 物質

届出排出量・移動量の上位 10 物質は表 3 のとおりです。上位 9 物質の構成は前年度と同じですが、4 番目のエチルベンゼンと 5 番目の塩化メチレンの順位が入れ替わっています。また、10 番目には前年度のほう素化合物に替わり、亜鉛の水溶性化合物が入っています。

表3. 平成 25 年度届出排出量・移動量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		届出排出量・移動量合計(トン/年)												
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1	300	トルエン	178,025	169,583	170,153	158,685	161,098	156,553	151,967	128,896	113,443	106,469	99,934	92,558	89,393
2	412	マンガン及びその化合物	23,953	29,265	32,581	32,127	32,101	31,939	31,458	32,297	26,354	30,239	49,940	53,687	49,932
3	80	キシレン	65,339	59,419	61,379	59,629	57,731	56,943	55,308	48,869	41,863	40,305	40,514	37,829	36,069
4	53	エチルベンゼン	12,555	12,840	16,618	17,186	19,052	19,858	20,854	19,103	17,149	17,890	18,373	17,618	17,378
5	186	塩化メチレン	37,537	33,725	34,250	32,115	33,304	30,410	28,347	25,437	21,948	21,980	20,678	18,761	17,241
6	87	クロム及び三価クロム化合物	13,541	12,853	14,635	13,846	12,159	12,477	12,387	13,379	11,002	13,129	15,920	15,617	16,797
7	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	10,425	10,202	10,622	8,070	6,755	5,946	6,197	7,743	7,171	8,046	10,798	11,138	12,161
8	232	N,N-ジメチルホルムアミド	16,298	13,425	15,512	15,331	14,636	12,927	13,647	12,341	10,058	10,061	9,695	9,416	9,304
9	305	鉛化合物	17,560	16,751	17,626	16,644	16,473	17,239	13,826	8,709	8,122	7,608	8,992	9,182	8,205
10	1	亜鉛の水溶性化合物	7,581	6,242	7,463	5,954	5,845	5,925	5,944	6,348	5,385	5,101	4,670	4,158	5,743
上位10物質の合計			382,813	364,305	380,839	359,588	359,154	350,217	339,935	303,122	262,495	260,829	279,513	269,964	262,224
合計			516,064	487,945	506,858	479,401	473,148	454,374	440,604	389,211	339,867	343,088	358,463	344,778	336,778

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち届出排出量・移動量の上位 2 物質：ノルマルヘキサン：14,031 トン/年、塩化第二鉄：9,297 トン/年

※ 「鉛化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「鉛及びその化合物」のデータを示した。

②届出排出量の上位 10 物質

届出排出量の上位 10 物質は表 4 のとおりです。上位 10 物質の順位は前年度と同じとなっています。

表4. 平成 25 年度届出排出量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		排出量合計(トン/年)												
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1	300	トルエン	132,569	122,915	119,285	109,900	106,459	103,004	99,196	83,085	71,102	63,551	58,624	54,678	54,131
2	80	キシレン	52,392	47,521	48,547	46,615	44,867	44,252	43,355	38,323	32,540	31,446	31,954	30,091	28,380
3	53	エチルベンゼン	9,159	9,982	12,852	13,932	15,267	16,056	16,527	15,380	13,771	14,559	14,774	14,103	14,035
4	186	塩化メチレン	27,571	25,746	24,902	22,420	22,691	20,123	18,769	15,653	13,528	14,146	13,527	11,548	10,921
5	318	二硫化炭素	7,078	4,997	5,056	4,942	4,259	4,360	4,513	4,086	3,959	4,203	4,420	3,914	3,965
6	305	鉛化合物	9,253	9,556	9,963	8,575	8,267	8,974	6,548	2,946	3,647	3,679	3,844	3,526	3,725
7	412	マンガン及びその化合物	4,792	4,504	8,724	8,590	7,071	6,801	6,240	6,678	6,342	2,878	3,153	3,237	3,152
8	281	トリクロロエチレン	6,346	6,045	5,782	5,006	5,168	4,868	4,633	3,824	3,423	3,474	3,242	3,095	3,039
9	405	ほう素化合物	2,258	2,504	3,039	3,026	3,156	3,214	3,218	3,106	2,991	3,214	3,045	2,629	2,574
10	232	N,N-ジメチルホルムアミド	6,341	5,229	4,765	4,345	4,333	4,553	4,626	3,557	2,578	2,191	2,137	2,297	2,537
上位10物質の合計			257,759	238,998	242,914	227,352	221,536	216,206	207,625	176,639	153,880	143,341	138,722	129,119	126,460
合計			308,027	286,340	288,027	267,026	257,396	244,060	233,355	199,097	174,450	164,628	158,673	147,264	144,433

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち届出排出量の上位 2 物質：ノルマルヘキサン：10,410 トン/年、

1,2,4-トリメチルベンゼン：2,625 トン/年

※ 「鉛化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「鉛及びその化合物」のデータを示した。

※ 「ほう素化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「ほう素及びその化合物」のデータを示した。

1) 大気への届出排出量の上位 10 物質

大気への届出排出量の上位 10 物質は表 5 のとおりです。上位 10 物質の順位は前年度と同じとなっています。

表 5. 平成 25 年度大気への届出排出量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		大気への届出排出量(トン/年)												
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1	300	トルエン	132,440	122,796	119,189	109,813	106,381	102,944	99,094	83,045	71,068	63,504	58,575	54,640	54,092
2	80	キシレン	52,356	47,492	48,509	46,568	44,830	44,199	43,317	38,311	32,531	31,437	31,947	30,085	28,374
3	53	エチルベンゼン	9,157	9,980	12,848	13,931	15,265	16,045	16,519	15,379	13,768	14,556	14,772	14,102	14,035
4	186	塩化メチレン	27,550	25,724	24,887	22,405	22,680	20,112	18,760	15,645	13,522	14,141	13,520	11,544	10,916
5	318	二硫化炭素	6,938	4,905	4,953	4,843	4,181	4,273	4,409	4,000	3,882	4,138	4,334	3,801	3,898
6	281	トリクロロエチレン	6,341	6,042	5,777	5,003	5,165	4,866	4,631	3,822	3,421	3,472	3,239	3,093	3,037
7	232	N,N-ジメチルホルムアミド	6,040	4,614	3,932	4,039	4,023	4,339	4,433	3,434	2,509	2,088	2,007	2,217	2,449
8	240	ステレン	4,594	4,005	3,803	3,432	3,348	2,919	2,991	2,397	2,113	2,306	2,288	2,164	2,252
9	128	塩化メチル	4,403	3,867	3,766	3,541	2,270	1,987	1,834	1,639	1,686	1,639	1,454	1,573	1,551
10	297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,115	1,104	1,339	1,610	1,699	1,575	1,540	1,281	1,105	1,234	1,064	1,026	1,025
		上位10物質の合計	250,932	230,530	229,003	215,185	209,843	203,259	197,528	168,953	145,606	138,516	133,200	124,245	121,628
		合計	277,022	253,365	249,240	232,325	225,377	216,694	209,740	179,142	154,733	147,791	141,771	132,014	129,333

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち大気への排出量の上位 3 物質：ノルマルヘキサン：10,407 トン/年、1,2,4-トリメチルベンゼン：2,624 トン/年、1-プロモプロパン：1,236 トン/年

2) 公共用水域への届出排出量の上位 10 物質

公共用水域への届出排出量の上位 10 物質は表 6 のとおりです。前年度 7 番目の二硫化炭素に替わり、8 番目に N,N-ジメチルホルムアミドが入っています。また、前年度 8 番目の銅水溶性塩（錯塩は除く）は 7 番目に替わっています。

表 6. 平成 25 年度公共用水域への届出排出量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		公共用水域への届出排出量(トン/年)												
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1	405	ほう素化合物	2,130	2,392	2,886	2,874	3,012	3,074	3,103	2,992	2,906	3,074	2,940	2,529	2,494
2	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	3,258	2,983	3,011	2,743	2,640	2,402	2,475	2,464	2,273	2,226	2,266	1,978	1,842
3	412	マンガン及びその化合物	1,039	1,085	1,052	1,011	817	875	835	828	706	737	773	757	718
4	1	亜鉛の水溶性化合物	652	580	655	650	616	594	598	601	585	613	591	607	597
5	245	チオ尿素	115	180	242	186	155	155	154	171	95	153	51	151	143
6	76	ε-カプロラクタム	200	205	179	158	235	138	173	265	144	136	134	144	136
7	272	銅水溶性塩(錯塩を除く)	123	111	126	112	111	102	115	117	91	116	113	101	117
8	232	N,N-ジメチルホルムアミド	301	614	833	306	310	214	193	123	69	102	131	80	88
9	407	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	226	220	240	209	185	185	161	134	102	119	104	100	87
10	453	モリブデン及びその化合物	79	91	82	76	83	78	60	58	63	63	73	97	72
		上位10物質の合計	8,122	8,460	9,306	8,325	8,164	7,817	7,867	7,755	7,032	7,339	7,176	6,545	6,295
		合計	10,505	10,503	11,489	10,186	9,841	9,433	9,305	8,904	8,030	8,312	8,164	7,402	7,118

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち公共用水域への届出排出量が最も多い物質：N,N-ジメチルアセトアミド：71 トン/年

※ 「ほう素化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「ほう素及びその化合物」のデータを示した。

3) 事業所内の土壌への届出排出量の上位 10 物質

土壌への届出排出量の上位 10 物質は表 7 のとおりです。前年度 8 番目のクロム及び三価クロム化合物に替わり、1 番目に銅水溶性塩（錯塩を除く）が入っています。また、1 番目以外の物質は前年度と同じですが、順位が入れ替わっています。

表 7. 平成 25 年度事業所内の土壌への届出排出量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		事業所内の土壌への届出排出量(トン/年)												
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1	272	銅水溶性塩(錯塩を除く)	0.010	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.020	0.0002	0.0001	4.1
2	332	砒素及びその無機化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.64	0.83	0.77	0.89
3	260	クロロタロニル	0	0	0.001	0	0.10	0.16	0.16	0.15	0.085	0.24	0.25	0.22	0.17
4	412	マンガン及びその化合物	0.024	0.36	0.008	0.43	0.021	0.002	46	150	97	78	120	0.14	0.12
5	31	アンチモン及びその化合物	0.006	0.003	0.034	0.043	0.052	0.059	0.069	0.045	0.031	0.062	0.073	0.059	0.058
6	80	キシレン	0.37	0.13	0.33	0.53	0.046	14	9.6	0.057	0.074	0.10	0.074	0.050	0.050
7	258	ヘキサメチレンテトラミン	0	0.003	0.003	0.003	0.003	0	0	0	0	0.008	0.043	0.042	
8	300	トルエン	0.18	0.10	0.40	0.75	0.22	2.0	47	0.006	0.020	2.2	4.5	0.43	0.028
9	355	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	0.042	0.065	0.089	0.020	0.015	0.0004	0.002	0.018	0.019	0.026	0.026	0.025	0.020
10	453	モリブデン及びその化合物	0.60	0.048	0.062	0.073	0.068	0.030	0.026	0.016	0.009	0.018	0.017	0.022	0.016
上位10物質の合計			1.2	0.72	0.93	1.9	0.52	16	102	150	97	82	126	1.7	5.5
合計			49	44	7.5	4.1	3.5	27	110	153	128	106	154	1.8	5.5

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち土壌への届出排出量が最も多い物質：ビス(1-メチルフェニルエチル) = ペルオキシド：0.004 トン/年

4) 事業所内の埋立処分の届出排出量の上位 10 物質

埋立処分の届出排出量の上位 10 物質は表 8 のとおりです。上位 10 物質の構成は前年度と同じですが、5 番目の亜鉛の水溶性化合物、6 番目のクロム及び三価クロム化合物、7 番目のニッケル化合物の順位が入れ替わっています。

表 8. 平成 25 年度事業所内の埋立処分の届出排出量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		事業所内の埋立処分の届出排出量(トン/年)												
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1	305	鉛化合物	9,165	9,484	9,885	8,496	8,217	8,931	6,506	2,913	3,619	3,654	3,820	3,507	3,704
2	412	マンガン及びその化合物	3,716	3,387	7,633	7,545	6,214	5,887	5,319	5,656	5,500	2,018	2,215	2,444	2,379
3	332	砒素及びその無機化合物	5,983	7,148	6,468	6,144	5,782	1,295	1,000	850	1,004	1,124	830	789	963
4	31	アンチモン及びその化合物	1.3	1,201	1,011	1,064	1,128	1,256	889	311	316	307	308	309	333
5	1	亜鉛の水溶性化合物	12	74	1,537	178	263	282	281	981	562	320	740	300	220
6	87	クロム及び三価クロム化合物	593	489	370	448	248	54	44	20	121	200	241	193	158
7	309	ニッケル化合物	136	110	121	159	142	39	29	27	302	428	275	173	95
8	75	カドミウム及びその化合物	155	119	146	119	117	85	72	83	88	121	98	76	58
9	272	銅水溶性塩(錯塩を除く)	27	0.24	16	18	23	42	31	22	23	63	32	35	40
10	242	セレン及びその化合物	32	22	18	21	24	16	17	16	10	13	14	10	8.4
上位10物質の合計			19,819	22,035	27,204	24,193	22,158	17,887	14,188	10,879	11,544	8,248	8,574	7,835	7,959
合計			20,451	22,429	27,290	24,511	22,175	17,906	14,201	10,897	11,560	8,419	8,584	7,845	7,976

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち埋立処分として届け出られた物質はなかった。

※ 「鉛化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「鉛及びその化合物」のデータを示した。

③届出移動量の上位 10 物質

届出移動量の上位 10 物質は表 9 のとおりです。上位 7 物質の構成は前年度と同じですが、6 番目の N, N-ジメチルホルムアミドと 7 番目の塩化メチレンが入れ替わっています。また、前年度 9 番目のアセトニトリルに替わって 8 番目に亜鉛の水溶性化合物が入り、前年度 8 番目の鉛化合物が 9 番目に替わっています。

表 9. 平成 25 年度届出移動量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		移動量合計(トン/年)												
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1	412	マンガン及びその化合物	19,161	24,761	23,857	23,538	25,031	25,139	25,218	25,619	20,012	27,361	46,786	50,450	46,780
2	300	トルエン	45,456	46,668	50,868	48,785	54,639	53,549	52,771	45,810	42,341	42,918	41,310	37,881	35,262
3	87	クロム及び三価クロム化合物	12,868	12,309	14,212	13,353	11,868	12,379	12,301	13,322	10,826	12,872	15,617	15,388	16,594
4	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	6,456	6,707	7,411	4,938	3,999	3,440	3,612	5,152	4,813	5,714	8,435	9,070	10,265
5	80	キシレン	12,947	11,897	12,832	13,013	12,864	12,691	11,953	10,545	9,323	8,859	8,560	7,738	7,689
6	232	N,N-ジメチルホルムアミド	9,957	8,196	10,747	10,986	10,303	8,373	9,022	8,784	7,480	7,870	7,558	7,118	6,767
7	186	塩化メチレン	9,966	7,979	9,348	9,695	10,613	10,287	9,578	9,784	8,420	7,834	7,150	7,212	6,320
8	1	亜鉛の水溶性化合物	6,880	5,557	5,208	5,098	4,946	5,025	5,043	4,744	4,219	4,143	3,321	3,235	4,913
9	305	鉛化合物	8,308	7,195	7,663	8,069	8,206	8,265	7,278	5,764	4,475	3,929	5,148	5,655	4,480
10	53	エチルベンゼン	3,396	2,858	3,767	3,253	3,785	3,803	4,327	3,723	3,378	3,331	3,599	3,515	3,343
上位10物質の合計			135,395	134,127	145,914	140,729	146,254	142,950	141,103	133,246	115,287	124,832	147,483	147,263	142,413
合計			208,037	201,605	218,832	212,375	215,752	210,314	207,249	190,114	165,417	178,461	199,790	197,514	182,345

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち届出移動量の上位 3 物質：塩化第二鉄：9,296 トン/年、N, N-ジメチルアセトアミド：3,776 トン/年、ノルマル-ヘキサン：3,621 トン/年

※ 「鉛化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「鉛及びその化合物」のデータを示した。

1) 事業所外への廃棄物としての届出移動量の上位 10 物質

廃棄物としての届出移動量の上位 10 物質は表 10 のとおりです。上位 7 物質の構成は前年度と同じですが、6 番目の N, N-ジメチルホルムアミドと 7 番目の塩化メチレンが入れ替わっています。また、前年度 9 番目のアセトニトリルに替わって 8 番目に亜鉛の水溶性化合物が入り、前年度 8 番目の鉛化合物が 9 番目に替わっています。

表 10. 平成 25 年度事業所外への廃棄物としての届出移動量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		事業所外への廃棄物としての届出移動量(トン/年)												
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1	412	マンガン及びその化合物	19,153	24,755	23,849	23,530	25,024	25,133	25,213	25,614	20,008	27,357	46,783	50,447	46,775
2	300	トルエン	45,391	46,628	50,829	48,744	54,584	53,506	52,737	45,759	42,310	42,890	41,285	37,860	35,238
3	87	クロム及び三価クロム化合物	12,857	12,278	14,167	13,333	11,854	12,367	12,288	13,314	10,819	12,870	15,615	15,387	16,592
4	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	6,363	6,600	7,276	4,821	3,918	3,363	3,554	5,093	4,773	5,674	8,399	9,037	10,233
5	80	キシレン	12,894	11,850	12,807	12,992	12,842	12,668	11,939	10,530	9,312	8,846	8,550	7,731	7,680
6	232	N,N-ジメチルホルムアミド	9,003	7,248	9,703	9,941	9,333	7,705	8,681	8,535	7,226	7,657	7,352	6,938	6,565
7	186	塩化メチレン	9,965	7,971	9,337	9,691	10,611	10,287	9,576	9,783	8,419	7,832	7,150	7,212	6,320
8	1	亜鉛の水溶性化合物	6,857	5,539	5,181	5,076	4,920	5,005	5,021	4,726	4,201	4,125	3,305	3,221	4,899
9	305	鉛化合物	8,307	7,195	7,663	8,069	8,205	8,265	7,278	5,763	4,475	3,929	5,148	5,655	4,480
10	53	エチルベンゼン	3,370	2,856	3,760	3,250	3,782	3,800	4,326	3,719	3,376	3,328	3,596	3,512	3,340
上位10物質の合計			134,161	132,920	144,571	139,445	145,074	142,098	140,613	132,835	114,920	124,510	147,181	146,999	142,121
合計			204,486	198,969	216,146	209,914	213,575	208,449	205,811	188,911	164,243	177,256	198,710	196,492	191,254

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち廃棄物としての届出移動量の上位 3 物質：塩化第二鉄：9,292 トン/年、N, N-ジメチルアセトアミド：3,730 トン/年、ノルマル-ヘキサン：3,616 トン/年

※ 「鉛化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「鉛及びその化合物」のデータを示した。

2) 下水道への届出移動量の上位 10 物質

下水道への届出移動量の上位 10 物質は表 11 のとおりです。上位 10 物質の構成は前年度と同じですが、3 番目のアセトニトリルと 4 番目のホルムアルデヒド、5 番目の酸化プロピレンと 6 番目のほう素化合物、8 番目の直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)から 10 番目のふっ化水素及びその水溶性塩までがそれぞれ入れ替わっています。

表 11. 平成 25 年度下水道への届出移動量の上位 10 物質の推移

順位	対象物質		事業所外への下水道としての届出移動量(トン/年)												
	物質番号	物質名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1	232	N,N-ジメチルホルムアミド	955	948	1,044	1,045	971	668	341	249	254	213	205	180	202
2	407	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	168	149	150	145	132	145	142	118	111	157	132	138	159
3	13	アセトニトリル	10	17	24	6.7	13	27	32	35	38	35	59	65	77
4	411	ホルムアルデヒド	114	93	105	102	88	122	111	107	97	80	72	92	74
5	68	酸化プロピレン	28	92	84	92	86	83	83	70	69	52	54	51	55
6	405	ほう素化合物	18	22	28	31	37	31	24	40	38	61	62	57	54
7	20	2-アミノエタノール	256	105	133	138	169	186	154	94	91	87	61	44	47
8	30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)	116	34	22	18	17	12	16	19	22	33	29	33	38
9	56	エチレンオキシド	51	52	54	45	38	36	48	41	75	49	39	38	36
10	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	93	106	135	116	80	76	58	60	40	40	37	34	32
上位10物質の合計			1,807	1,617	1,779	1,738	1,633	1,386	1,009	833	835	805	750	732	776
合計			3,552	2,636	2,686	2,460	2,176	1,866	1,438	1,203	1,173	1,204	1,080	1,022	1,091

(参考) 平成 22 年度から追加された対象化学物質のうち下水道への届出移動量の上位 3 物質：N,N-ジメチルアセトアミド：46 トン/年、トリエチルアミン：46 トン/年、2-エチルヘキサノール：32 トン/年

※ 「ほう素化合物」の平成 13 年度から平成 21 年度までの届出排出量として「ほう素及びその化合物」のデータを示した。

(4) 業種別の届出排出量・移動量

継続物質 276 物質のうち届出があった 263 物質を対象として集計した業種別の届出排出量・移動量の推移は図2のとおりです。(グラフごとに縦軸の目盛りが異なります。)

図2. 業種別の届出排出量・移動量の推移

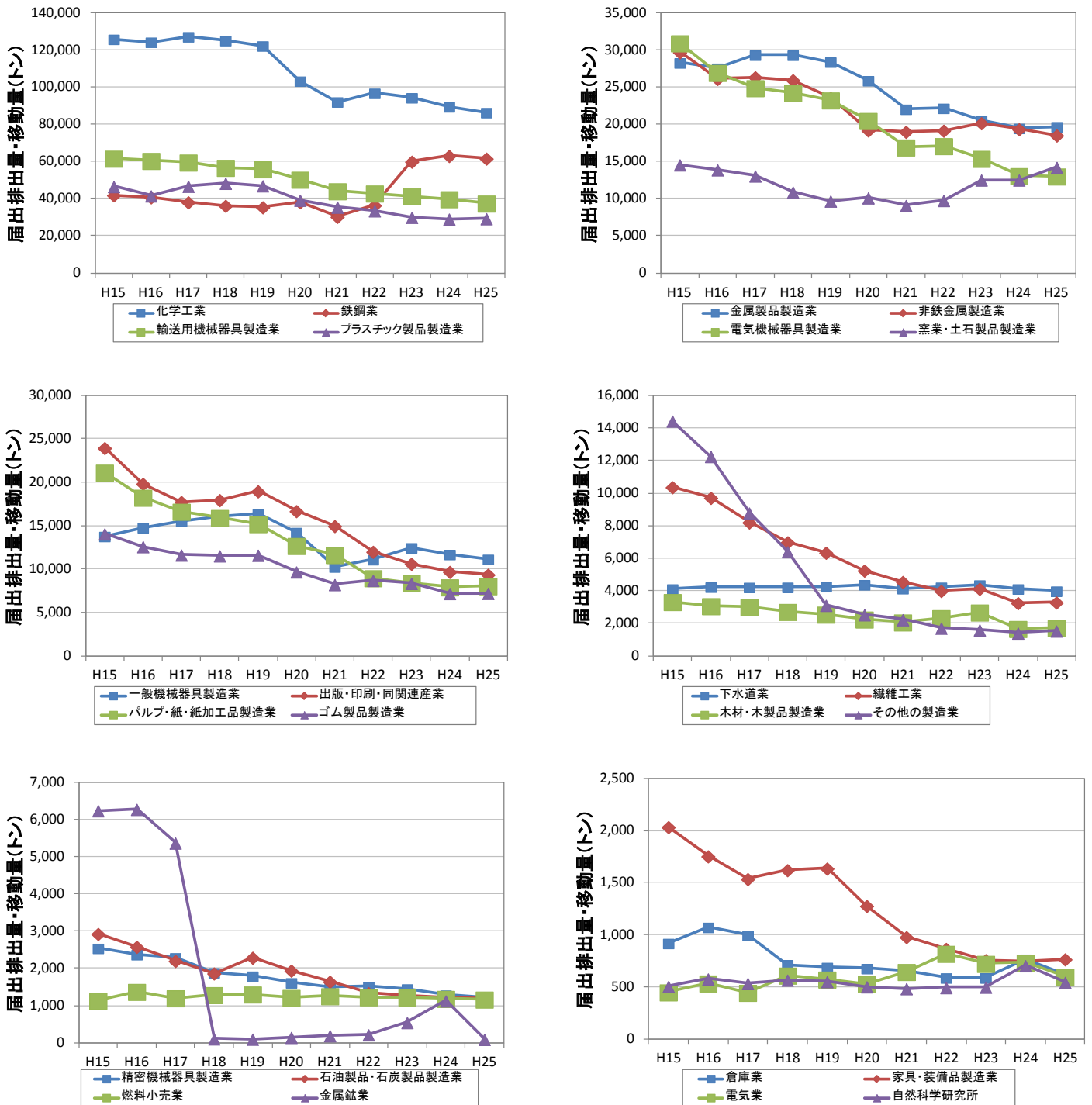
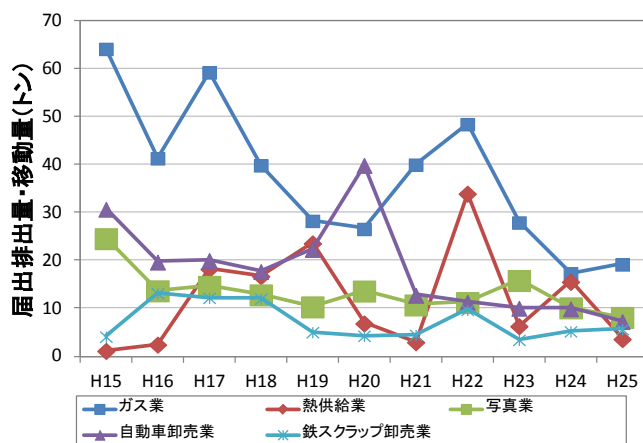
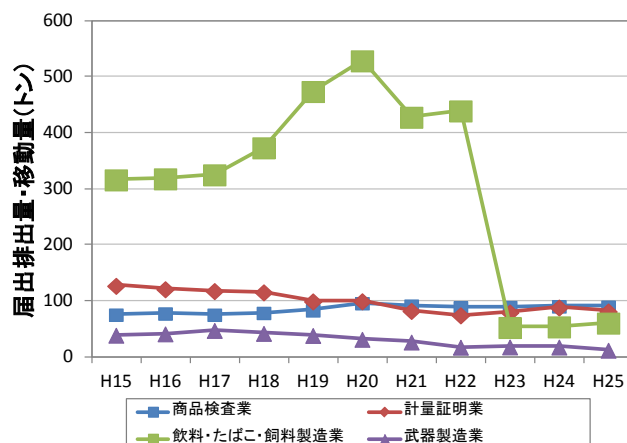
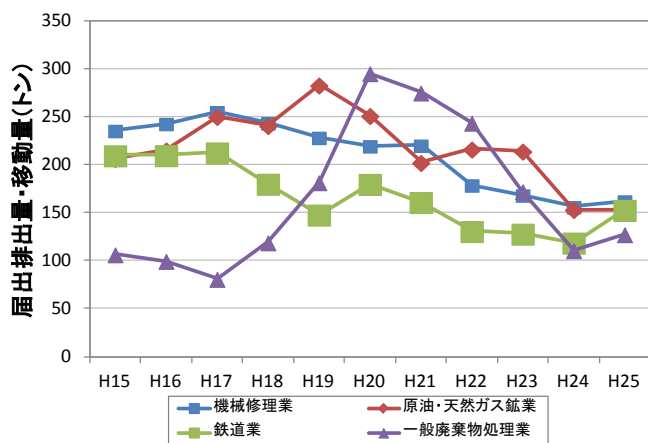
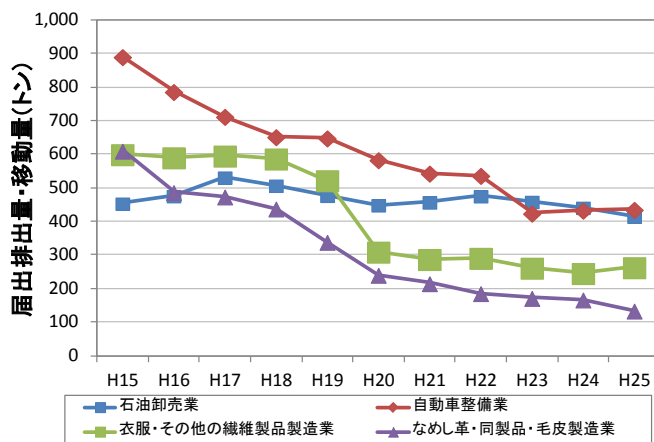
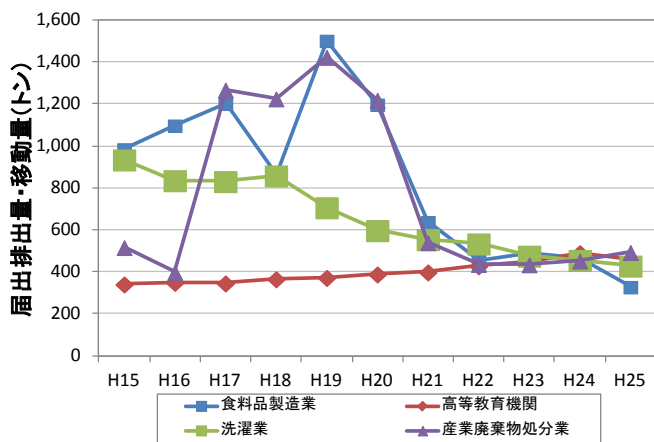


図2. 業種別の届出排出量・移動量の推移(続き)



(5) 特定第一種指定化学物質の排出量・移動量

特定第一種指定化学物質の物質別・排出先別の届出排出量・移動量は図3のとおりです。

平成22年度から、鉛化合物(物質番号:305)、1,3-ブタジエン(351)、2-ブロモプロパン(385)、ホルムアルデヒド(411)が特定第一種指定化学物質として届出対象になりました。そのため、平成13年から平成21年までのデータについては、鉛化合物については、「鉛及びその化合物」のデータを使用し、それ以外の3つの物質については、年間取扱量1トン以上の事業所による排出量等の届出のデータを使用しました。

図3. 特定第一種指定化学物質の排出先別の届出排出量・移動量の推移
石綿(物質番号:33) エチレンオキシド(56)

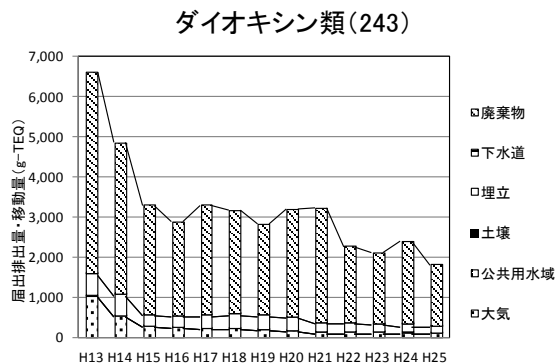
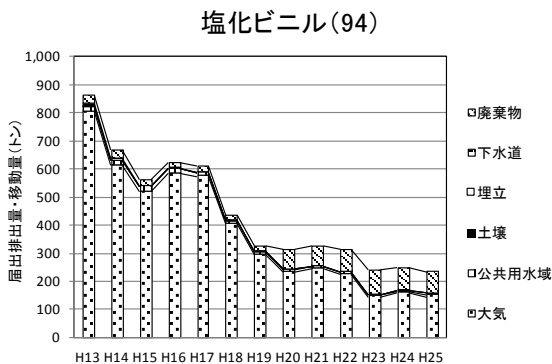
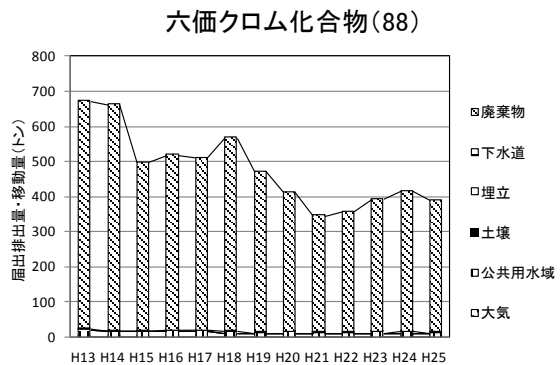
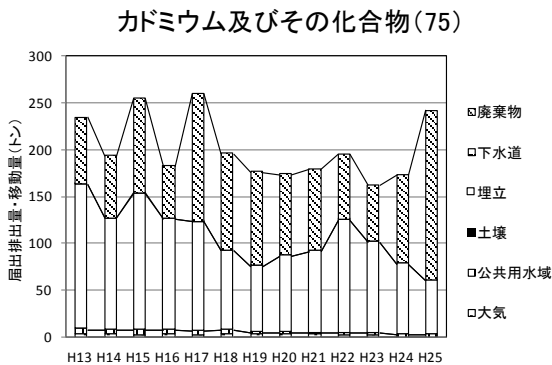
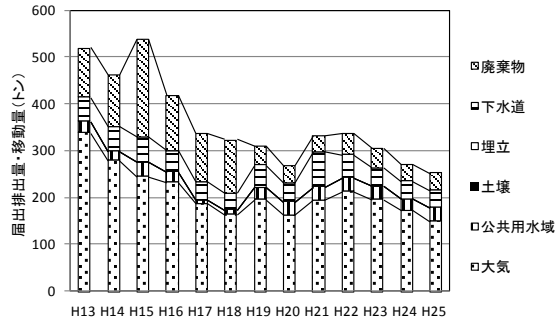
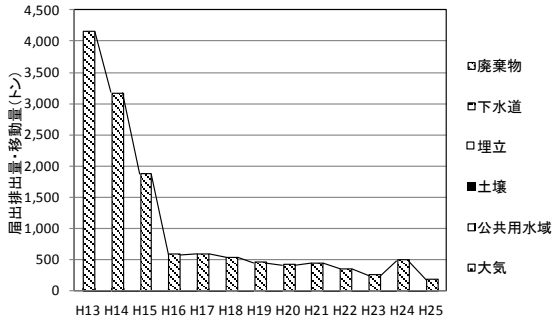
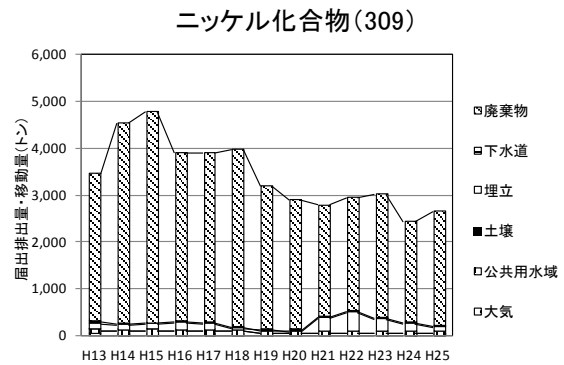
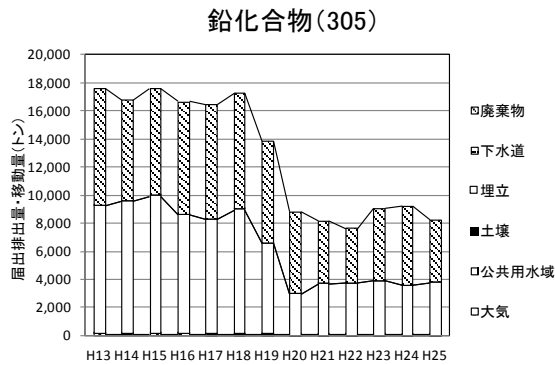
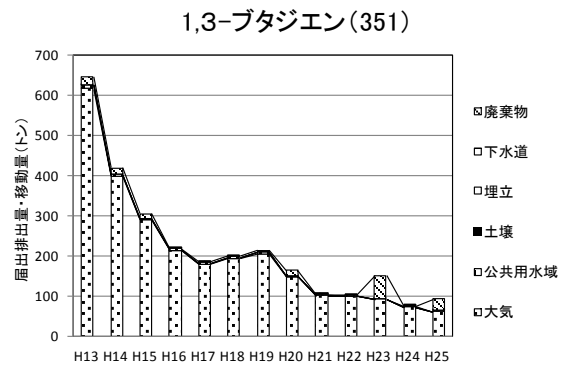
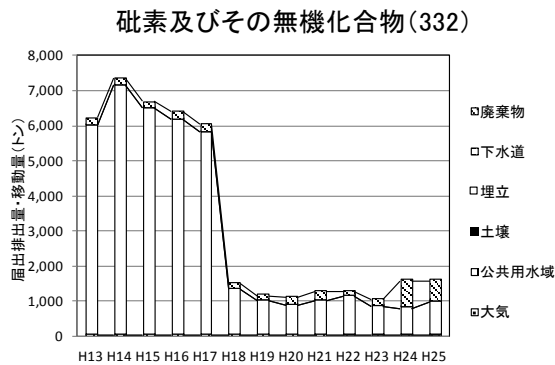


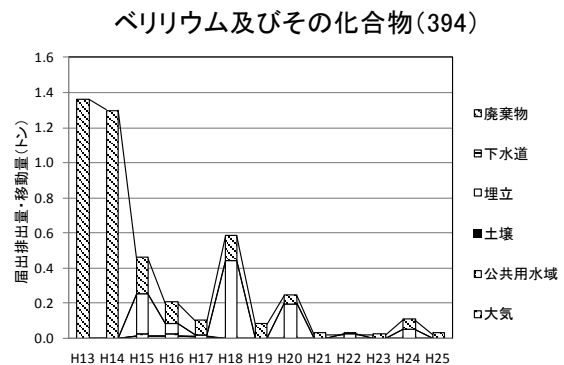
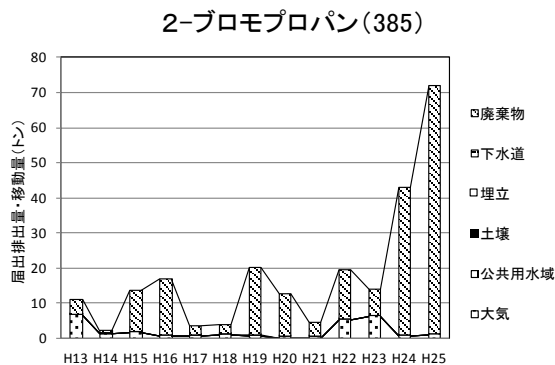
図3. 特定第一種指定化学物質の排出先別の届出排出量・移動量の推移(続き)



※平成13年度から平成21年度までの届出排出量・移動量として「鉛及びその化合物」のデータを示した。

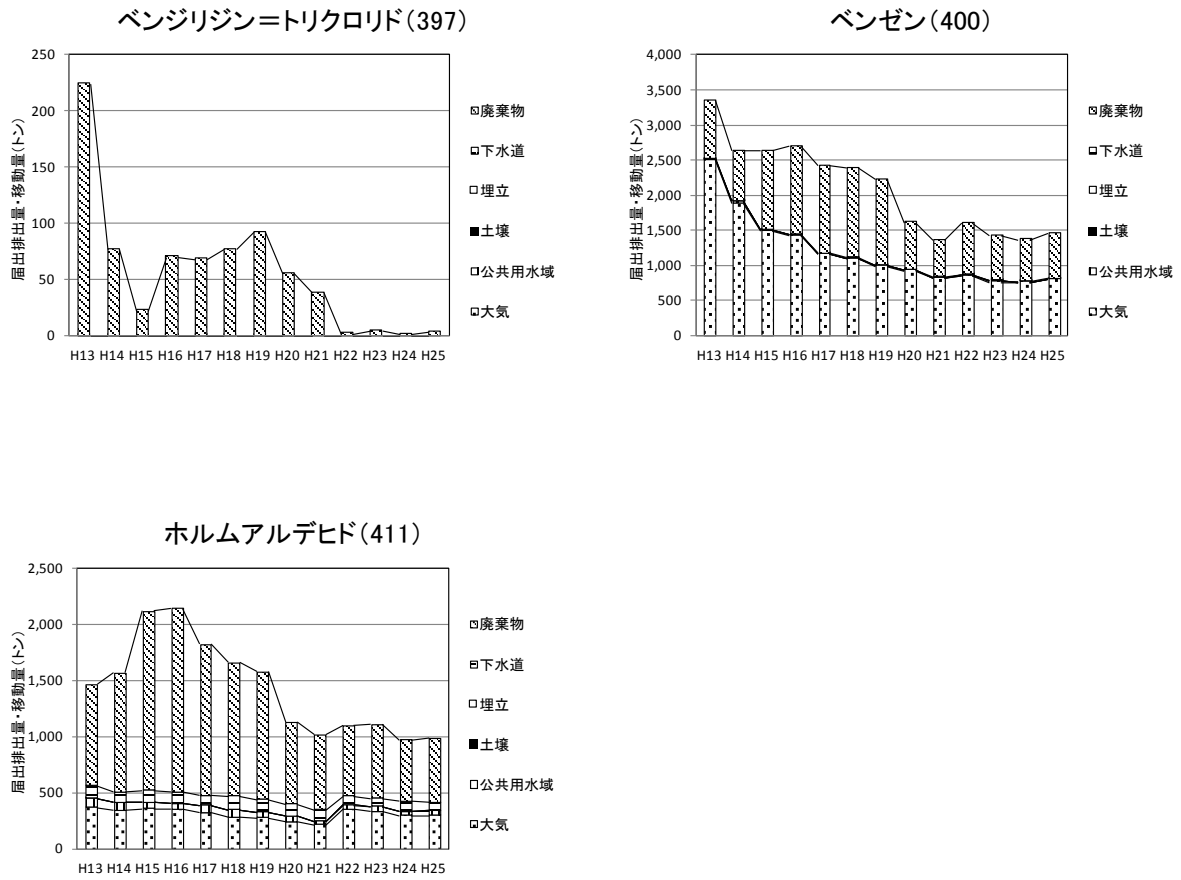


※平成21年度から特定第一種指定化学物質となったため、年間取扱量が0.5トン以上(平成21年度までは1トン以上)の事業所による排出量等の届出が平成22年度から開始。



※平成21年度から特定第一種指定化学物質となったため、年間取扱量が0.5トン以上(平成21年度までは1トン以上)の事業所による排出量等の届出が平成22年度から開始。

図3. 特定第一種指定化学物質の排出先別の届出排出量・移動量の推移(続き)



※平成 21 年度から特定第一種指定化学物質となったため、年間取扱量が 0.5 トン以上(平成 21 年度までは 1 トン以上)の事業所による排出量等の届出が平成 22 年度から開始。